



うらやす

宇部市立上宇部小学校
学校だより 7月号
令和4年6月21日発行

「あいさつ」や「トイレのスリッパ」・・・から始まる キャリア教育

宇部市立上宇部小学校
校長 三輪 孝行

少子高齢化の進む中、若者の職業意識が変わり、いわゆるフリーター（定職をもたない）やニート（職に就かない）といった若者が増えたことをきっかけに、文部科学省は危機感を強め、“キャリア教育”を小学校から実施するようにと唱えています。

山口県教育委員会では、知・徳・体の調和のとれた教育を推進する上で、この“キャリア教育”を重視しているためでしょうか、『山口県教育推進の手引き』の最初に“キャリア教育”を掲載しています。

また、宇部市教育委員会でも、指針にある「7つの重点取組事項」の一つに「キャリア教育」を掲げて、『1／2成人式』や『職場体験イベント』等について記載しています。

キャリア教育とは、「夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力の育成」を小学校から行いながら、職業意識を正しくもたせようとするものです。

では、小学校ではいったい何をすればよいのでしょうか？

本校では、高学年児童を対象にいろいろな職業の方からお話を聞いたり（昨年度はコロナの感染拡大防止のため中止）、4年生児童を対象に『1／2成人式』を行ったりしています。しかし、これだけで十分とは言えません。

社会生活を営む上で大切な「基本的な生活習慣」を身につけさせることが小学校では重要であると私は考えています。立派に社会生活をこなすことができるようにすることがキャリア教育の基本であると考え、その素地を養うことが小学校での職務であると思います。

『あいさつができること』『トイレのスリッパ等の公共のものは、次の人のことを考えて使うこと』『身の回りの整理整頓ができること』『身だしなみができること』『正しい言葉遣いができること』等々、社会の中で生きるための正しい生き方を学ばせたいと思っています。

お子様一人一人の生活ぶりを改めて確認できる時期が、これから始まる夏休みです。ぜひ、この絶好の機会をキャリア教育と結びつけて、実のある休みにしてほしいと願っています。

一回り成長した子どもたちに出会える二学期を楽しみにしています。

保護者や地域の皆様、一学期、大変お世話になりました。